

紅海武力攻撃の影響を受ける世界貿易

FreshPlaza 2023年12月20日

イランが支援するフーシ派による攻撃が増加したため、世界最大級の海運会社はどれも紅海とスエズ運河から遠ざかっている。ほとんどの大手海運会社は先週にうちに、紅海、ひいてはスエズ運河を避けると発表した。極東からヨーロッパへ向かう船は、南アフリカの喜望峰を経由してアフリカ大陸全体を迂回する必要がある。航海は約3,500海里(6,482キロメートル)延長され、1週間以上長くなる。業界アナリストによると、このことはすでに商品の輸送コストに大きな影響を与えている。

コペンハーゲンに本拠を置く市場分析会社ゼネタ社のチーフアナリストであるピーター・サンド氏によると、上海からロッテルダムへの1往復の航海では、喜望峰を経由するルートへの変更によって燃料代が100万ドル増加する。

また、最近の攻撃を受けて保険料が高騰し、またアジアとヨーロッパの間を毎週運航するコンテナ船会社は、週1便のサービスを確保するためには、3隻の船を追加するコストを考慮する必要がある。輸送の遅延は、通常は大量のコンテナの流れを非常に効率的に処理するヨーロッパ中のコンテナ港に波及効果をもたらす。

すでに約350億ドルの貨物が迂回 荷主はすでに、約300億ドル相当の貨物を紅海から迂回させている。現在、57隻のコンテナ船が紅海とスエズ運河を近道する代わりにアフリカ沖を遠回りしており、その数は今後とも増えたと予想される。

海の安全保障体制を強化 火曜日(12月19日、米国時間18日)、米国は紅海の海上通商を保護するための多国間作戦を実施すると発表した。ロイド・オースティン国防長官は、安全保障問題に対処するための国際タスクフォースの結成を発表した。この措置の一環として、英国、バーレーン、カナダ、フランス、イタリア、オランダ、ノルウェー、セーシェル及びスペインは紅海南部とアデン湾で合同パトロールを行う。

この地域に駐留する米国と英国の軍艦は、フーシ派のミサイルと無人機を撃墜し始めた。しかし、強化された海軍力の存在が攻撃を完全に停止するのに十分かどうかは不明である。

出典: [dw.com](https://www.dw.com)

米国 ルイジアナ州のカンキツグリーニング病検疫地域を拡大

米国農務省動植物検疫局通知 DA-2023-29 2023年12月20日(1月3日送信)

件名: APHISがルイジアナ州のカンキツグリーニング病検疫地域を拡大
宛先: 州、準州、及び部族の農業規制当局担当官

以下は直ちに発効する。米国農務省動植物検疫局(APHIS)は、ルイジアナ州食品農業局(LDFA)と協力して、同州セントチャールズ郡にHLB(黄龍病: *Candidatus Liberibacter asiaticus* によって引き起こされるカンキツグリーニング病)の連邦検疫地域を設置する。APHISは、同州での定期的な調査の中で、複数の場所から収集された植物組織のサンプルからHLBが検出されたためにこの措置を講じるものである。この変更措置はルイジアナ州における連邦検疫地域を拡大するものであり、州が設置する検疫地域及び州内の関係者に対する規制については変更が無い。LDFAは2022年4月20日に州内の検疫を設定した。連邦と州のHLB検疫地域は現在並列している。

APHISは、ルイジアナ州セントチャールズ郡の検疫地域からの規制対象物の州間移動に安全措置を適用している。これらの措置は、LDFAが定める州内の検疫措置と並行して実施される。このことは、米国内の非感染地域へのHLBの拡散を防ぐために必要である。

この検疫地域の設置は、現在のすべての連邦HLB検疫地域の説明を掲載している[APHISカンキツグリーニング病ウェブサイト](#)にも反映されている。APHISは、おって連邦官報に通知を掲載する。

添付資料: [カンキツグリーニング病及びミカンキジラミの検疫地域](#)